

^{60}Co

^{36}Cl

^{87}Rb

ISSN 0289-9906

名古屋大学アイソトープ総合センター

^{36}Cl

^{55}Mn

^{60}Co

^{45}Ca

^{32}P

^{87}Rb

Tracer

^{57}Co

^{35}S

^{129}I

^{125}I

^3H

^{131}I

^{40}K

^{137}Cs

^{51}Cr

^{147}Sm

^{75}Se

$^{99\text{m}}\text{Tc}$

^{51}Cr

^{14}C

^{125}I

^{57}Co

^{14}C

^{137}Cs

^{129}I

^{40}K

^{75}Se

^{147}Sm

^{131}I

^3H

^{55}Mn

^{32}P

^{22}Na

^{36}Cl

^{87}Rb

^{60}Co

^{45}Ca

^{35}S

$^{99\text{m}}\text{Tc}$

2002 Vol. 30

Tracer 第30号

目 次

巻 頭 言

ライフサイエンスは人間の自己認識過程	古 川 鋼 一	1
--------------------------	---------	---

トピックス

シンポジウム「放射線・R I施設における情報公開のあり方と問題点」を 名古屋大学原子力安全委員会とともに開催		3
国立大学アイソトープ総合センター長会議に出席して	山 岸 裕 孝	4
平成13年度 共同利用研究課題一覧		5
平成13年度 センター利用者一覧		10
講習会・学部実習		14
講習会修了者名簿		17
センターを利用するの学位授与者		20
放射線安全管理室からのお知らせ		22
機器紹介		22
委員会の報告		23
アイソトープ総合センター協議会協議員名簿		23
アイソトープ総合センター運営委員会運営委員名簿		24
アイソトープ総合センター教育・広報委員会名簿		24
人事異動		24
編集後記		25

ライフサイエンスは人間の自己認識過程

大学院医学研究科分子総合医学専攻

生物化学講座分子細胞化学分野・疾病遺伝子学分野

教授 古川 鋼 一

この7月21日より名古屋大学アイソトープ総合センター分館長という、身にあまる重責を担うことになりました、医学部生化学第二講座(旧称)の古川鋼一です。正式所属名は名古屋大学大学院医学研究科分子総合医学専攻生物化学講座分子細胞化学分野・疾病遺伝子学分野といます。「トレーサー」の巻頭言を書くようにとの御依頼があり、やむなくお受けしましたが、まだ分館長らしいことは何一つやっておらず、「RIセンターはかくあるべし」などという内容はとても書けそうにありませんので、私の自己紹介がわりに、生命科学への思いをまとめることにします。

20世紀における生物学の発見の中で最も重要なものの一つは、いうまでもなく Watson と Crick による遺伝子DNAの化学構造の決定であり、A. KornbergのDNA polymeraseの発見だと思われる。1950年代の半ばにその二重らせん構造が発表されて以来、遺伝子と遺伝の本体が明瞭な物的現象として理解されと共に、生命の発生、進化の基本メカニズムが概ね明らかにされるに至った。21世紀の初頭にはいくつかの細菌、下等動物を始め、ついにヒトの全ゲノム塩基配列が解読されるということで、生命科学は新たな次元に突入した。私達の世代は丁度1950年前後に生まれ育ってきたわけで、まさに現代生物学の劇的展開の中で知的発育を遂げ、その成果を涵養されたことになる。後に振り返ってみた時に、有史以来の光輝くような画期的時代に生きたんだと自らも考えまた子供達によっても思われるのだろう、そんな気がする。

では何が画期的なのか?

生物の中で、初めて自らの本体の存在メカニズムを理解しえたのは現代の人間のみであり、自らの存在を形成する過程と、存在を生じせしめた歴史的メカニズムを認識したという点で私達は未到の地平に立っている、そのことが画期的であると思う。即ち、現代生物学の真髄は人間の自己認識の営みである。

この8月に科学技術・学術審議会が出した「科学技術・学術振興に関する当面の重要事項について」という「建議」を読むと、次の4点の重要性が強調されている。即ち、①ライフサイエンス ②情報通信 ③環境 ④ナノテクノロジー・材料、である。この4点の重要性がさげられるのは今に始まったことでなく、既に文科省の重要政策の柱として位置付けられ、それに呼応した研究科の新設が各大学で盛んに構想されている。これらの領域の新たな展開が21世紀の科学技術を飛躍的に進歩させ、人類の幸福に貢献するというわけである。しかし、この4点をじっくりながめると、互いに決して並列に置かれるべきものでなく、幾分色合いが異なっていることに気づく。特に、「ライフサイエンス」は、確かに運用の仕方では新産業の創出につながりベンチャーのタネになるも知れない。またポストゲノムシーケンス時代といわれるこれからの研究の進展が、実質的に医療内容を大きく変容せしめることもある程度予想可能である。しかしながら、そのような「ライフサイエンス」がもたらす実益以外に、他の3分野にはないポテンシャルが含まれていると思われる。ライフサイエンスの中味が、直接的に人間の本質に迫る科学であるからである。つきつめて言えば、人間の自己認識、自己理解の過程と言ってもいい過ぎではないであろう。その点で他の3分野が、より実利的で技術的なニュアンスが濃厚であるのと違って、「ライフサイエンス」の研究

には「人間とは何か」を問いつづける、pureな動機が常にひそんでいる気がする。

さて、私の研究は、細胞認識に関わる細胞膜表面分子、特に複合糖質分子の構造と機能の解明であり、ヒトとヒトの相互作用もそのメカニズムにおいて基本的に同一線上にあると考えられる。よって血液型糖鎖構造が個人の認識過程に大きく関与していると考えすることは少しも突飛ではなかろう。その俗称が「性格」とよばれているものである。ゲノム情報により一次的に規定された分子が認識過程の現場において如何にその役割を果たして生物を生存せしめ、高次機能活動を調節し遂行していくのか、を解明していくことは、とりもなおさず「人間とは何か」という陳腐な命題のモダンサイエンスの仕事に他ならない。

ライフサイエンスの進歩が、人々の生命観と人間観に大きな変化を与え、今後の社会のあり方に対しても根本的な変革をもたらす予感がする。故に、生命科学者や医学研究者に限らず、他分野の研究者においても基本的なライフサイエンスの成果を共有することが必須のことと思われる。さらに、研究者ならずとも、「人間とは何か」という普遍的な問いかけへの解答を模索する上で、モダンライフサイエンスを学ぶことが、あらゆる虚飾、虚構、虚偽を克服して科学的認識に到達する有効な道だと、私には思われる。

ライフサイエンスにおけるラジオアイソトープの重要性は今さら私が強調するまでもない。その進歩における多大な貢献は筆舌に尽しがたいし、今後もラジオアイソトープの重要性はすたれることがないと思われる。なぜなら、自然が創造した諸々の化学構造に限りなく同一性を持ち、かつ有効なシグナルを発しうる方法は他に存在しないからである。いかなる形になろうと、ライフサイエンスが名古屋大学および医学部の研究の重要な柱になっていくことは必然的であり、RIセンターの役割は極めて重大である。若い研究者にとって使い易いセンターの創出が課せられた当面の課題だと受け止めている次第である。

シンポジウム 「放射線・RI施設における情報公開のあり方と問題点」を 名古屋大学原子力安全委員会とともに開催

名古屋大学アイソトープ総合センター

専門職員 山 岸 裕 孝

アイソトープ総合センターでは、7月19日（木）名古屋大学シンポジオンホールにおいて、シンポジウム「放射線・RI施設における情報公開のあり方と問題点」を、名古屋大学原子力委員会とともに開催した。（共催：大学等放射線施設協議会北陸・東海支部、日本アイソトープ協会放射線取扱主任者部会中部支部、日本原子力学会中部支部）

参加者は、全国各地の国公立大学・研究機関、民間企業等から教官・事務官・技官・技術者等約100名を数えた。そのうち約70%が名古屋大学以外からの参加であり、情報公開について関心の高さを示すものとなった。

最初に西澤センター長から、求められる情報の公開の方法や、情報の開示・不開示の基準、一般社会と大学のと接点、放射線・RIを取り扱う特殊性の施設ゆえ、マスコミや一般市民の情報開示に対する思いを、どう受け止めていくか等シンポジウムを開催するに至った経緯についての説明と講演があった。

次いで、伊藤高義氏（名古屋大学法学研究科・教授）から「情報公開法の概要について」と題し、情報公開法の主な内容について、情報公開法の趣旨及び法の目的（第1条）に文言として採り入れなかった「知る権利」について、詳細に説明があり、また第5条における開示・不開示の情報判断の基本的な考え方や対応について等の講演があった。

また西澤センター長より、今回やむを得ず出席できなかった文部科学省岡本浩二氏（科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長）から、『障害防止法に提出等が規定されている文書は全

て開示対象となり、申請書も原則開示。立ち入り検査関係、管理状況報告書、定期検査関係も原則開示となる』旨のコメントがあったと報告があった。

次いで、大森雅弥氏（中日新聞社会部記者）から「一般市民、マスコミから見た放射線・RI施設における情報公開の受け止め方」と題し、なぜいま情報公開なのか市民の立場から、日本における情報公開の流れについて、テロなど治安上の危険につながりかねないと、危惧をもたれている放射性物質関係の情報公開事例について、20年ほど前から積極的に情報公開に関与してきたオンブズマンの見方について、名古屋大学の情報開示の拙さの実例について、一般市民及びマスコミから見た情報公開のあり方についての講演があった。

次いで、河出 清氏（名古屋大学原子力委員会委員長・教授）から、「名古屋大学の放射線・RI施設における情報公開への取り組み」と題し、名古屋大学における情報公開基準策定に向けての基本的な考え方について、放射線安全管理組織について、RI施設における情報の問題点について、今後の情報公開のあり方と対応について講演があった。

最後に、参加者も参加した総合討論が行われ、大学が行う情報開示に対し、物品等納入企業等の責務について、開示・不開示の判断基準及び開示可能範囲について、不開示判断後の対応について等活発に討論が行われ、予定時刻を大幅に超過し閉会した。

国立大学アイソトープ総合センター長会議に出席して

名古屋大学アイソトープ総合センター

専門職員 山 岸 裕 孝

第25回国立大学アイソトープ総合センター長会議が、去る6月14日（木）京都大学放射性同位元素総合センターを当番校として、京都大学医学部附属病院大会議室にて、文部科学省の赤塚研究振興局学術機関課長補佐他の出席を得て、開催された。

初めに当番校のセンター長の挨拶に続き、赤塚課長補佐から①平成13年1月～3月にかけて行われた行政評価局による北海道・四国地方の「国立大学等におけるR Iの管理に関する行政評価・監視」結果について②省庁再編に伴う組織変更等について、今後の状況、見通し等について説明を交えながらの挨拶があった。特に①については、今年度中に各地方で実施される見通しであり、指摘事項を参考に対応していただきたい旨報告があった。

報告事項として幹事会より、センター長会議に先立ち教官懇談会を開催したこと、次期幹事校の選出、広報委員会活動報告、法令改正に伴う予算の措置について話し合われたこと、また教官懇談会については、各グループ別にアイソトープの現状と問題点について話し合われ、各グループ代表大学のセンター長からそれぞれ報告があった。次いで、①国立大学アイソトープ総合センターの

整備状況、概算要求事項、定員、現員状況、教育訓練状況②広報小委員会の活動について報告があった。

協議事項として、①将来計画検討小委員会の活動②広報委員会の活動については、各委員長からそれぞれ提言があり、協議の結果了承された。

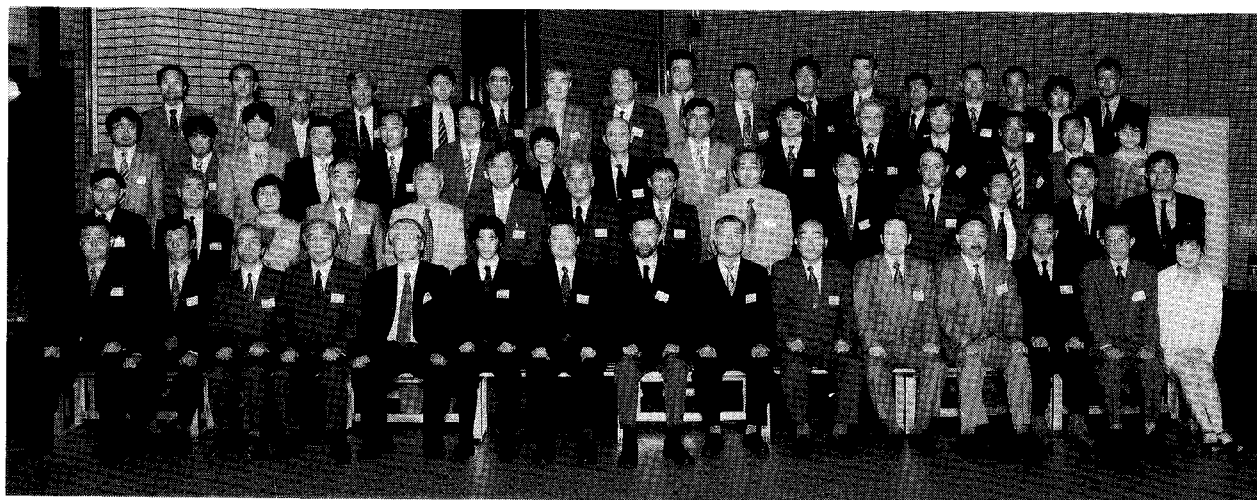
③センターの経費、施設、人員等の要求については、教官懇談会のグループにて検討する旨了承された。

④法令等の改正に対する大学・アイソトープ総合センター等の対応について、平成15年3月までに全てを見直し施設を強化する、経費は学長（総長）裁量経費等学内経費を充当させる等各大学で検討することとなった。

⑤平成14年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修当番校について、大阪大学で開催することが決定された。

⑥第26回国立学校アイソトープ総合センター長会議当番校については、広島大学で開催することが決定された。

以上、センターが抱えている問題点を中心に討議され、活発な意見交換が行われ、最後にセンターの地位の向上を確認して盛会の中で会議を終了した。



平成13年度 共同利用研究課題一覧

A. 本館

学 部	所 属	研 究 課 題	No.
理学部・理学研究科	素粒子宇宙物理学専攻 基本粒子研究室	高純度鉛板に含まれる放射能の測定と核種の同定	1
	物質理学専攻 生物化学研究室	I-125を用いたタンパク質標識実験	2
		C-14, S-35, H-3を用いたトレーサー実験	3
		オルガネラの生合成研究(特にミトコンドリア, クロロプラスト等)	4
	生命理学専攻 機能調節学講座 超分子システム学研究グループ	細胞標識によるタンパク質挙動の解析	5
	生命理学専攻 超分子機能学講座 感覚運動研究グループ	人工膜へのNa-22の取り込み実験	6
医学部・医学研究科	分子総合医学専攻 病態内科学講座 病態修復内科学	細胞の酸化ストレス応答	7
	細胞情報医学専攻 脳神経病態制御学講座 脳神経外科学	アポトーシス関連遺伝子の発現調節	8
	機能構築医学専攻 病態外科学講座 病態制御外科学	ホルモン産生副腎腫瘍の分子生物学的手法を用いた病因解析	9
	機能構築医学専攻 運動・形態外科学講座 整形外科	骨芽細胞に対するホルモン・サイトカインの影響	10
	健康社会医学専攻 社会生命科学講座	ラジオイムノアッセイによる糖代謝(インスリンシグナル伝達)系タンパク代謝系タンパク定量	11
		標識(H-3)グルコースによる糖輸送能の測定	12
		特異的ペプチドを用いたタンパクリン酸化の測定	13
		ラジオイムノアッセイによる一酸化窒素合成酵素のタンパク定量	14
	保健学科 放射線技術科学専攻 基礎放射線技術学講座	各種放射能(線)測定器の精度評価実験	15
		R I 貯留槽の水モニタの高精度化と校正方法の開発	16
		低レベル放射能の測定	17
	保健学科 放射線技術科学専攻 医用放射線技術学講座	H P G e 検出器の検出効率の超精密測定とその応用	18
工学部・工学研究科	生物機能工学専攻 遺伝子工学講座	糖転移酵素遺伝子群の微生物からのクローニング及びその活性測定	19
		ガン細胞と血管内皮細胞の接着実験	20
		クロマチン免沈・クロマチンリモデリング因子の in vitro translation	21
	原子核工学専攻 エネルギー材料化学講座	中性子ラジオグラフィへのイメージングプレートの応用とその解析	22
	原子核工学専攻 原子核計測学講座	H P G e 検出器の検出効率の超精密測定とその応用	23
	原子核工学専攻 エネルギー環境工学講座	コンクリート材料中のH-3, C-14濃度の測定	24
		環境中のH-3の測定	25
	結晶材料工学専攻 光エネルギー結晶工学講座	Na-22のβ+粒子(陽電子)が物質内の電子とともに消滅する際に放出するγ線のエネルギー解析を行う。	26
	量子工学専攻 量子材料工学講座	非密封放射性同位元素の取り分け	27
		イメージングプレートを用いた結晶の評価	28
農学部・生命農学研究科	生物機構・機能科学専攻 バイオダイナミクス講座 生物相関進化化学	植物病原菌における病原性の分子機構の解析	29
	生物機構・機能科学専攻 分子細胞機構学講座 微生物学	大腸菌, 分裂酵母, シロイヌナズナにおける各種外界刺激に応答した情報伝達と遺伝子発現調節機構	30
	生物機構・機能科学専攻 生物機能分化学講座 資源昆虫学	昆虫ペプチドホルモン遺伝子の発現調節機構の解析	31
		昆虫ホルモンの作用機構の解析	32
	生物機構・機能科学専攻 生物機能分化学講座 動物比較情報学	魚類の培養網膜及び培養松果体におけるメラトニン放出リズム	33
		マウスの松果体及び網膜中におけるメラトニンの日周リズム	34
	生物機構・機能科学専攻 資源生物機能学講座 植物病理学	植物の生体防御機構の解析	35

	生物機構・機能科学専攻 資源生物機能学講座 土壌生物化学	土壌中における芳香族化合物の微生物分解のメカニズム分解微生物群の検出	36
	応用分子生命科学専攻 バイオモデリング講座 動物行動統御学	時計遺伝子の発現調節	37
		松果体メラトニンの測定	38
	応用分子生命科学専攻 バイオモデリング講座 神経内分泌統御学	栄養・ストレスなどの環境因子による生殖機能の調節機序	39
		脳内ペプチドの性腺刺激ホルモン調節機序	40
	応用分子生命科学専攻 生命機能化学 生理活性物質化学	H-3ラベルペプチドリガンドを用いたP S K受容体バインディングアッセイ	41
		S-35 P A P Sを用いたチロシン硫酸化酵素反応実験	42
		P-32 A T Pを用いたタンパク質リン酸化実験	43
		I-125ラベルペプチドを用いたフォトアフィニティーラベル	44
	応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物機能制御学	鳥類ホルモン遺伝子の発現調節	45
	応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物生殖制御学	栄養・ストレスなどの環境因子による生殖機能の調節機序	46
		脳内のエネルギーセンシング機構の解明	47
	応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物栄養情報学	鳥類ホルモン濃度の測定	48
応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物遺伝制御学	サザン法を用いた機能遺伝子のマッピングに関する研究	49	
応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物細胞生物学	小腸微絨毛膜へのGlucose, Na ⁺ の取り込みについて	50	
附属農場	鳥類および哺乳類におけるホルモン濃度の測定	51	
附属山地畜産実験実習施設	スクス脱ヨード酵素(5' D I)遺伝子の発現部位とその変化	52	
環境学研究科	地球環境科学専攻 大気水圏科学系 地球環境変動論講座	海洋堆積物・沈降粒子の放射性核種の測定	53
	地球環境科学専攻 地球化学講座	中性子放射化による地球化学試料の多元素分析と地圏環境評価の研究	54
	地球環境科学専攻 放射線・生命科学講座	イメージングプレートの発光スペクトル分析	55
		低エネルギーβ核種の分離測定	56
人間情報学研究科	物質・生命情報学専攻 環境システム論	非電離放射線が個人線量計に及ぼす影響	57
		イメージングプレートを用いる高感度甲状腺I-123摂取率測定法の開発	58
		イメージングプレートを用いる甲状腺I-131定量法の開発	59
		I-123のサムピーク法による定量測定	60
	物質・生命情報学専攻 生物システム論	両生類胚の初期発生機構の解析	61
環境医学研究所	分子・細胞適応部門 内分泌・代謝分野	分子生物学的手法を用いたストレス応答の研究	62
	分子・細胞適応部門 発生・遺伝分野	S R C - 1 ノックアウトマウスにおける甲状腺ホルモン応答性	63
		Z A K I - 4 遺伝子の機能解析	64
	器官系機能調節部門 神経性調節分野	P-32のDNA標識を用いた炎症メディエーター受容体のトレーサー実験	65
		S-35のRNA標識を用いた炎症メディエーター受容体のin situ hybridization	66
	器官系機能調節部門 循環器分野	心筋カリウムチャネル遺伝子発現に対する甲状腺ホルモンの作用	67
地球水循環研究センター	広域水循環変動研究部門	海洋植物プランクトンの基礎生産力 (C-14取込速度)の測定	68
生物分子応答研究センター	動物機能統御部門	P-32によるDNA/蛋白複合体 (セントロメア領域)の解析	69
		+セントロメア関連遺伝子のスクリーニング	70
		メダカ性分化関連遺伝子のクローニング	71
理工学総合研究センター	総合エネルギー科学	プラズマ対向壁表面のH-3分布測定	72
		イメージングプレート測定値較正のための低中エネルギーβ線源作製と測定	73
		γ線に対するイメージングプレートの計数特性調査	74

難処理人工物研究センター	難処理大量人工物無害化処理研究	複数の芳香族化合物で汚染された土壌の微生物浄化技術の開発	75
物質化学国際研究センター		I-125を用いたタンパク質標識実験及び標識タンパク質を用いたトレーサー実験	76
アイソトープ総合センター		甲状腺I-131定量測定法の開発	77
		I-125汚染甲状腺のin vivoモニタリング法の最適化	78
		イメージングプレートの点線源応答特性の解析	79
		イメージングプレートを用いるI-123甲状腺のモニタリング	80
		非電離放射線の個人線量計に及ぼす影響	81
		両生類胚の初期発生機構の解析	82
		両生類初期胚における分化決定機構の分子生物学的解析	83
		各種放射線測定器の校正実験	84
		放射線防護に関する研究	85

B. 分館

学 部	所 属	研 究 課 題	No.
医学部・医学研究科	生理学第一講座	P-32磷酸化蛋白を基質として、精製プロテインフォスファターゼを測定、それに対する各種の阻害剤とそれらの誘導体の構造-活性相関を研究する。	86
		P-32磷酸化蛋白を基質として、モルモット心筋抽出液ならびに部分精製試料中の各種プロテインフォスファターゼを選択的に測定し、各種阻害剤の効果の検討を行う。	87
	生理学第二講座	機械受容チャネルのクローニングP-32	88
		ヒト血管内皮細胞における機械受容機構の解明P-32	89
		ラット繊維芽細胞における機械受容機構の解明P-32	90
	生化学第一講座	蛋白の化学的クロスリンクおよび結合検定。蛋白をI-125ラベルし、化学的クロスリンクや結合検定に使用。	91
		糖鎖合成酵素の解析。P-32ラベルをプローブでcDNAライブラリースクリーニング。C-14ラベル糖を用いた活性測定。	92
		硫酸転移酵素の活性測定。S-35ラベル硫酸基供与体を用いた活性測定。	93
	生化学第二講座	複合糖質の糖鎖合成酵素遺伝子をクローニングして、その構造と基質特異性および発現の検討を行っている。そのために、C-14、H-3 などにより標識された糖核酸を用いた酵素活性の測定を行っている。また、P-32で標識されたプローブを用いて、サザンブロットイング、ノザンブロットイング、コロニーハイブリダイゼーションなどを行っている。	94
		糖鎖合成酵素および糖鎖と相互反応する諸蛋白質の解析のため、S-35 やI-125などによる蛋白質の標識を行って、その動態の検討を行っている。	95
		細胞増殖・分化の調節機構の解析のため、P-32標識核酸を用いたタンパクキナーゼ活性の測定、H-3標識核酸を用いた増殖度の測定、を行っている。	96
	薬理学講座	インスリン分泌のシグナル伝達および膵β細胞の破壊過程における蛋白質リン酸化の役割を調べるため、インスリンをI-125標識インスリンを用いたRIAで測定するとともに基質のリン酸化を[γP-32]ATPを用いて測定する。	97
		Rho-kinase cascadeを[γP-32]ATPを用いて検討する。	98
		低分子GTP結合蛋白質RhoのGTPおよびGDP結合量を[S-35]GTP γSおよび[H-3]GDPを用いて測定する。	99
	病理学第一講座	悪性リンパ腫の分子診断-免疫グロブリン、T cell receptorのモノクローナリティの検討(P-32ラベルプローブを用いたSouthern blotting)	100
		微小管結合蛋白の神経細胞特異的転写制御機構の解析(P-32ラベルプローブでの各種ハイブリダイゼーション、ゲルシフトアッセイ、DNaseIフットプリンティング)	101
	病理学第二講座	癌遺伝子RETオンコジーンの機能解析をP-32を用いたカイネースアッセイなどで行う。またS-35 やI-125などによる蛋白質の標識を行ってRETと相互反応する諸蛋白質の解析を行う。	102

		転写因子 rfp に結合する蛋白質のクローニングと機能解析を P-32 ラベルプローブを用いて行う。	103
		神経栄養因子 GDNF 刺激により発現誘導される遺伝子のクローニングを P-32 ラベルプローブを用いて行い、同定された遺伝子の発現をノーザンブロットで確認する。	104
細菌学講座		大腸菌におけるマクロライド系抗菌薬の排泄機構の解析。C-14 でラベルしたマクロライド系抗菌薬の細胞内への流入量を測定する。	105
		低分子、高分子物質の細菌細胞内外への流入流出機構の解析。C-14-benzoic acid の細胞内の取り込みを測定し、細胞内外の Δ pH を測定する。	106
法医学講座		P-32 ラベルプローブを用いた MVR-PCR 法による法医・人類遺伝学的研究	107
		P-32 ラベルプライマーを用いた検出法による新しい STR 座の法医学的応用	108
内科学第一講座	第 2 研究室	悪性リンパ腫に関わる新規癌抑制遺伝子の同定・単離 (P-32)	109
		赤血球系で発現する転写因子のジーンターグレッティング (P-32)	110
		FKLF-2 遺伝子のプロモーター解析 (P-32)	111
		7 番染色体に存在する候補癌抑制遺伝子の造血器悪性腫瘍における変異解析 (P-32)	112
	第 5 研究室	インスリン分泌に関する蛋白質のクローニングと機能解析 (S-35, P-32, I-125)	113
		膵 β 細胞の接着因子のインスリン分泌に与える作用の研究 (S-35, P-32)	114
		脂肪細胞の分化に伴う遺伝子発現の変化に関する研究 (S-35, P-32, H-3)	115
		家族性尿崩症 (中枢性、腎性) の遺伝子解析、発症機序の解明 (S-35, P-32, I-125)	116
		家族性サイロキシン結合グロブリンの遺伝子解析、発症機序の解明 (S-35, P-32, I-125)	117
		骨芽細胞、血管内皮細胞における無機リン酸輸送に与える薬物の効果の検討 (S-35, P-32)	118
		AVP 遺伝子の発現調節機構の解明 (S-35, P-32, I-125, H-3)	119
		視床下部、下垂体ホルモンの遺伝子発現調節機構の解明 (S-35, P-32, I-125)	120
	第 6 研究室	CD40L 遺伝子導入肺癌細胞にて免疫したマウスにおける CTL 活性の誘導を Cr-51 releasing assay にて検討	121
		ヒト肺癌細胞株における DNA methyl transferase の発現の検討	122
	第 8 研究室	腸管リンパ球上皮細胞の相互作用につき Killing assay, proliferation assay による検討	123
内科学第二講座	第 5 研究室	糖尿病における膵酵素測定の実臨床的意義	124
		膵腺房細胞における細胞内情報伝達機構の解明	125
	第 6 研究室	C-14 を使用した胃粘膜 NO synthase 活性測定	126
内科学第三講座 腎臓研究室		ラット実験腎炎における糸球体及び間質内での TGF β , CTGF 等成長増殖因子の発現についてのノーザンブロット (P-32) を用いた解析	127
		マウス実験腎炎における糸球体及び間質内での M κ , LRP, chemokine の発現についてのノーザンブロット (P-32) を用いた解析	128
		マウス及びラット腎培養細胞におけるシグナル伝達系の解析。ノーザンブロット (P-32) を用いる	129
		GDNF 刺激にて RET チロシンキナーゼ下流で誘導される新規遺伝子のクローニング、発現形態をノーザンブロット、コロニーハイブリダイゼーション (いずれも P-32) を用いて解析を行っている。	130
		マウス腎培養細胞における TLR を介した細胞内シグナル伝達系の解析。ノーザンブロット、キナーゼアッセイ (いずれも P-32) を用いている。	131

外科学第一講座 腫瘍研究室	シスプラチン及び類縁プラチナ錯体のテロメラーゼ活性阻害について、in vitroとcell lineでの阻害効果とそのメカニズムの研究。(テロメラーゼ活性測定をP-32を用いて行う。)	132
	DNA複製過程におけるポリメラーゼの塩基認識機構を解明する。(塩基伸長させるDNAプライマー末端にアイソトープ(P-32)をラベリングする。)	133
	肝内結石症例における体系的遺伝子発現異常の検討(P-32を用いたDNAアレイによる解析)	134
	酸化ストレスに対する細胞内シグナル伝達をP-32-ATPの基質へのとりこみを見る。	135
産婦人科講座	子宮内膜には胎盤性ロイシンアミノペプチダーゼ(P-LAP)やアミノペプチダーゼA(APA)が存在し、月経周期によって発現や分布が変化することをこれまで免疫組織染色やウェスタンブロットなどで確認してきた。今後、P-32を用いたノーザンブロッティングにてmRNAの発現を確認したり、S-35を用いて蛋白の合成や分泌を検討する。	136
	胎盤性ロイシンアミノペプチダーゼ(P-LAP)の転写調節領域の解析。これまでの研究から蛋白結合領域がある程度限定されてきた。今後、P-32を用いて、これらの領域において、サイトカイン、性ステロイドによる調節を含め転写調節因子の詳細を解析する。	137
	ヒト臍帯静脈内皮細胞(HUVEC)にはP-LAPおよびオキシトシンレセプターが存在し、オキシトシン刺激でP-LAPが細胞内から細胞表面に移動することをこれまでに確認した。今後インスリンおよびオキシトシンレセプターを発現した細胞でI-125を用いてbinding assayを行いP-LAPがどの段階でオキシトシンやインスリン刺激の調節を行っているかを検討する。	138
	これまでの実験で、CD26は卵巣癌細胞に発現し、卵巣癌患者の腹水添加によりその発現が亢進することから、卵巣癌の腹膜播種に関与することが解明された。今後は、CD26強発現の卵巣癌細胞において、H-3を用いて腹膜中皮細胞との接着および遊走能の変化を研究する。	139
小児学講座	慢性良性好中球減少症症例の抗好中球自己抗体に対する免疫応答(クロムリリリースアッセイ)	140
老年科学講座	低glucoseの環境下で細胞のVEGF mRNAの発現が増加するかどうかを検討した。低glucoseによりu-937細胞VEGF mRNA発現の増強が認められた。(P-32)	141
	酸化的変性低比重リポ蛋白のマクロファージVEGF mRNA発現に与える影響を検討した。酸化的変性低比重リポ蛋白によりマクロファージVEGF mRNAの発現を増強させた。(P-32)	142
	ラットマクロファージ系細胞にNO合成酵素を誘導する際に、性ホルモンを共培養した時の影響を検討した。17βエストラジオールは発現を抑制した。	143
がん細胞研究部門	癌細胞DNA複製の調節機構((1)H-3, P-32でラベルしたヌクレオチドの取込を調べる)	144
	生理活性脂質によるDNA複製調節機構(C-14, H-3でラベルした脂質の代謝, I-125によるウェスタンブロッティング)	145
	DNAポリメラーゼの構造と機能((1)と同じ)	146
	癌抑制遺伝子産物RbによるDNA複製制御機構((1)と同じ)	147
分子病態研究部門	35Sメチオニン, 32PATP正リン酸等を用いて細胞の増殖, 癌化を調べる。	148
在宅管理医療部	微小変化型ネフローゼ症候群における蛋白尿発症機構ならびに各種腎疾患におけるメサングウム細胞障害機構について, cDNA array法(P-32, P-33)により研究しています。	149
薬剤部	レセプター結合実験による神経伝達物質受容体の測定	150
	神経伝達物質の遊離と再取り込みのトレーサー実験	151
	PKC, CaMKなどのリン酸化酵素活性の測定	152
胸部外科	原発性肺癌(non-small cell carcinoma)における遺伝子解析(p53 geneにおけるexon2-11の変異とその下流遺伝子mdm2など)の発現の変化をSSCP, Northern blot法で解析を施行しています。)	153

平成13年度 センター利用者一覧

A. 本館 (307名)

情報文化学部 (4名)

自然情報学科 情報機構学講座 (2名)

小木曾基式, 森 昌弘

自然情報学科 機能物質論 (1名)

佐々木教祐

自然情報学科 生物システム論 (1名)

津田 竜二

理学部・理学研究科 (39名)

素粒子宇宙物理学専攻 基本粒子研究室 (5名)

中村 光廣, 河田 二郎, 中村 琢, 多田 仁,
福田 貴子

素粒子宇宙物理学専攻 素粒子スピンの物性研究室 (1名)

稲垣 貴也

物質物理学専攻 生物化学研究室 (18名)

遠藤斗志也, 辻 正博, 西川 周一, 荒木 良輔,
内田真由美, 大嶋 智恵, 小笠原千春, 河合 明美,
篠田 佳宏, 清水 日高, 小代 俊浩, 高橋 貴土,
中西 一晃, 中山 剛, 森 健次, 山本 林,
野原 哲矢, 江崎 雅俊

生命理学専攻 機能調節学講座 超分子システム学研究
グループ (4名)

武内 恒成, 房岡 恵理, 中西 華代, 中田千枝子

生命理学専攻 超分子機能学講座 細胞構築学研究グル
ープ (1名)

伊藤 知彦

生命理学専攻 超分子機能学講座 感覚運動研究グル
ープ (3名)

葉師 寿治, 小嶋 勝, 依光 朋宏

地球惑星理学専攻 宇宙地球化学講座 (2名)

加地 拓哉, 藤 正史

生命理学専攻 生殖遺伝講座 (1名)

松嶋 良次

物理学科実習 (1名)

岩田 高広

分子生物・生物学科実習 (3名)

高木 新, 西岡 典子, 小川 和子

医学部・医学研究科 (21名)

医学科 (3名)

井上 摂理, 遠藤 信英, 渡辺 博行

社会医学系 健康増進医学 (1名)

越中 敬一

内科系 内科学第2 (1名)

井関 淳

内科系 内科学第3 (1名)

村上隆一郎

外科系 外科学第2 (1名)

柴田 有宏

外科系 整形外科科学 (1名)

光山 浩人

脳神経外科学 (1名)

加藤美穂子

分子総合医学専攻 病態内科学講座 (1名)

本多 隆

細胞情報医学専攻 脳神経病態制御学講座 脳神経外科
学 (1名)

若林 健一

機能構築医学専攻 病態外科学講座 病態制御外科学
(1名)

水野 豊

機能構築医学専攻 病態外科学講座 内分泌・移植外科学
(1名)

日比 八束

健康社会医学専攻 社会生命科学講座 (6名)

尾林麻理子, Gustavo Baggiotto, 秦 柏林,

徐 明, 長崎 大, 李 志浩

保健学科 放射線技術科学専攻 (1名)

緒方 良至

保健学科 放射線技術科学専攻 医用放射線技術学講座
(1名)

宮原 洋

工学部・工学研究科 (50名)50

生物機能工学専攻 遺伝子工学講座 (22名)

西島 謙一, 三宅 克英, 稲吉 勇仁, 上原 理恵,
江坂 和久, 小野健一郎, 片岡 洋平, 神村 亮介,
上林 和幸, 佐野 秀祐, 高橋 幹雄, 坪田 朋子,
Dinh Gia Khanh, 堂田 丈明, 能見 尚子,
堀江 卓誠, 町田 雄一, 松本 浩之, 水洗 慎司,
柳江 高次, 山口 和久, 渡辺 正樹

原子核工学専攻 エネルギー材料化学講座 (2名)

玉置 昌義, 田口 晋平

原子核工学専攻 原子核計測学講座 [瓜谷研] (2名)

瓜谷 章, 田淵 明

原子核工学専攻 原子核計測学講座 [宮原研] (5名)

加藤 佳志, 加藤 義親, Nada Marnada,
藤木 一雄, 池田 豊義

原子核工学専攻 エネルギー環境工学講座 (7名)

原子核工学専攻 エネルギー環境工学講座 (6名)

飯田 孝夫, 小嵐 淳, 齊藤 憲一郎, 野田 満靖,
山外攻太郎, 吉迫 公一

物理工学科 (1名)

小金澤孝之

結晶材料工学専攻 光エネルギー結晶工学講座 (2名)

松井 正顕, 浅野 秀文

材料機能工学専攻 材料物性機能学講座 (2名)

大森 和彦, 土井 正晶, 清水 利文

地圏環境工学専攻 土壌地下水保全 (2名)

梶浦章太郎, 加藤 知成

地圏環境工学専攻 地圏空間設計学講座 (1名)

井上 康

エネルギー理工学専攻 応用核物理学講座 (3名)

河出 清, 山本 洋, 柴田 理尋

量子工学専攻 量子材料工学講座 (2名)

重松 宏武, 西 芳正

農学部・生命農学研究科 (134名)

生物圏資源学専攻 生物圏動態論講座 (1名)

鈴木 大輔

生物機構・機能科学専攻 分子細胞機構学講座 微生物学 (13名)

饗場 浩文, 山田 壽美, 青山 桂輔, 伊藤 輝,
今村 綾, 大城 智子, 武田真一郎, 寺田 和典,
中道 範人, 藤澤洋二郎, 牧野 聖也, 松鹿 昭典,
三林 靖典

資源昆虫学G (15名)

生物機構・機能科学専攻 生物機能分化学講座 資源昆虫学 (13名)

柳沼 利信, 新美 輝幸, 岩堀 聡子, 大島 宏之,
片桐 伸悦, 加藤 泰弘, 近藤 俊文, 白田 典子,
松本 具子, 三輪 雅代, 森部 頼子, 森田 明広,
石田 裕幸

資源生物環境学科 資源昆虫学 (2名)

伊藤 久美子, 桑山 久史

植物病理G (30名)

生物機構・機能科学専攻 資源生物機能学講座 植物病理学 (18名)

道家 紀志, 川北 一人, 吉岡 博文, 井戸 邦彦,
大浦 生子, 小田村勝任, 片山 博之, 加藤 新平,
口村 和男, 小林光智友, 砂崎 浩二, 仲井 仁美,
中島 和美, 中根 栄一, 沼田 紀子, 真弓 大伸,
山下 真生, 山本 文子

生物機構・機能科学専攻 バイオダイナミクス講座
生物相関進化化学 (7名)

柘植 尚志, 伊藤 芳, 井上 伊織, 今崎 亜依,
小原 敏明, 西川 理英子, 田中 愛子

生物情報制御専攻 分子情報制御講座 (1名)

田中 孝欣

資源生物環境学科 植物病理学 (4名)

岡田 和秀, 神田 裕之, 桑原 頼人, 高岡 信也

生物機構・機能科学専攻 資源生物機能学講座 (1名)

松坂 敬子

動物機能制御G (31名)

応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物機能制御学 (11名)

斎藤 昇, 荒川 耕児, 市川 耕平,
Upi Chairun Nisa, 鈴木 亨, 高木 惣一,
山本 一郎, 佐々木 健, 塚田 光, 森 正彦,
河 燕ジュ

応用分子生命科学専攻 バイオモデリング講座 動物行動統御学 (11名)

吉村 崇, 浅見 武史, 岡林 生才, 林 憲子,
牧野 江里, 松江 達也, 安尾しのぶ, 横田 祐樹,
若井 英伸, 渡辺 剛史, 朱 聞

応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物栄養情報学 (1名)

村井 篤嗣

資源生物環境学科 動物比較情報学 (1名)

後藤 麻木

資源生物環境学科 動物機能制御学 (5名)

加藤 秀明, 坂巻 大岳, 野村 美冴, 浜田 敦子,
渡邊 美和

附属農場 [生物圏資源学専攻 生物圏動態論講座 草地学] (2名)

喜多 一美, 長尾 健二

応用分子生命科学専攻 生命機能化学講座 生理活性物質化学 (8名)

松林 嘉克, 内田 裕子, 岡田 正弘, 小川 真理,
後藤 孝信, 中山 大輔, 丹羽 正晃, 花井 秀俊

動物生殖制御学G (20名)

応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物生殖制御学 (16名)

前多敬一郎, 上野山賀久, 荒川貴美子, 石神 亨,
井上 朋子, エスタシオ マリア アメリタセリノ,
木下 美香, 齋藤 弘明, Somchai Sajapitak,
田中 晃, 西尾 崇, ビバリー・レイエス,
松原 昭博, 松山 秀一, 森山隆太郎, 宮本正太郎

応用分子生命科学専攻 バイオモデリング講座 神経内分泌統御学 (3名)

束村 博子, 丹羽 洋子, 吉田 恭子

資源生物環境学科 動物生殖制御学 (1名)

神谷 真理子

応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物遺伝制御学 (3名)

石川 明, 佐藤 旭, 真野 剛士

応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物細胞生物学 (1名)

武居 幸子

附属山地畜産実験実習施設 (1名)

Rogacheva Margarita

共通 アイソトープ実験室 (2名)

杉本 和弘, 内藤 壽朗

応用生物科学科 実習 (6名)

小田 裕昭, 加藤 雅士, 間崎 剛, 木羽 隆敏,
谷 修治, 丸井淳一朗

資源生物環境学科 実習 (2名)

宮田 正, 田中 利治

人間情報学研究科 (8名)8

物質・生命情報学専攻 生物システム論 (2名)

笹川 覚, 高畠 結花

物質・生命情報学専攻 物質設計論 (1名)

森 宏威

物質・生命情報学専攻 環境システム論 (4名)

伊藤 茂樹, 出路 静彦, 廣田 昌大, 山本 誠

物質・生命情報学専攻 情報機能論 (1名)

池田 崇

環境学研究科 (9名)

地球環境科学専攻 地球化学分野 (8名)

田中 剛, 南 雅代, 織田 周平, 木村 理恵,
柴田信之介, 仙田 量子, 武邊 勝道, 林 隆正

地球環境科学専攻 大気水圏科学系 地球環境変動論講座 (1名)

増澤 敏行

環境医学研究所 (23名)23

分子・細胞適応部門 内分泌・代謝分野 (8名)

神部 福司, 大森 幸子, 長屋 敬, 河野 節子,
末田 香里, 林 良敬, 曹 霞,
Devanand Sarkar

分子・細胞適応部門 発生・遺伝分野 (9名)

村田 善晴, 加納 安彦, 村瀬 孝司, 二木 杉子,
早坂 静, Ayesha Siddiq, 武内 陽子,
星野 伸, 伊藤 孝紀

器官系機能調節部門 神経性調節分野 (3名)

水村 和枝, 小崎 康子, Banik Ratan Kumar

器官系機能調節部門 循環器分野 (3名)

李 鍾國, Uzzaman Mahmud, 竹内 進

地球水循環研究センター (1名)

広域第一研究分野 (1名)

鈴木 光次

総合保健体育科学センター (1名)1

押田 芳治

生物分子応答研究センター (2名)2

動物機能統御部門 純系動物開発部門 (2名)

依田 欣哉, 安藤 寛

理工科学総合研究センター (2名)2

総合エネルギー科学 第6研究室 (2名)

田辺 哲朗, 宮坂 和孝

難処理人工物研究センター (1名)1

難処理大量人工物無害化処理研究 (1名)

片山 新太

物質科学国際研究センター (1名)

吉久 徹

アイソトープ総合センター (8名)

西澤 邦秀, 竹島 一仁, 高島 貴志, 佐瀬 卓也,
前越 久, 小島 久, 近藤 真理, 小島 美紀

アイソトープ総合センター分館 (3名)

安達 興一, 岩本 隆司, 濱田 信義

B. 分館 (314名)

医学部 (314名)

医学科・医学研究科 (314名)

生理1 (1名)

高井 章

生理2 (1名)

坂口菜朋子

生化1 (15名)

門松 健治, 村松 壽子, 内村 健治, 市原 啓子,
山本 智史, SALAMA RAGAA, 武井 佳史,
ELFASAKHANY FATHY, 陳 国云,
林 健司, 田口 栄一, 劉 大革, ゾウ 鵬,
陳 森, 小田 喜

生化2 (11名)

古川 鋼一, 浦野 健, 古川 圭子, 光田 輝彦,
吉田 祥子, 中村 曜子, 岩村 康一, 土田 明子,
西尾 将史, 本馬 周淳, 徳田 典代

薬理 (19名)

仁木 一郎, 深田 正紀, 深田 優子, 有村奈利子,
中川 誠人, 木村 俊秀, 西村 隆史, 天野 睦紀,
田谷真一郎, 河野 洋治, 前田 彰男, 金児 貴子,

渡辺 崇, 坪井 大輔, 中山 雅敬, 白水 崇,
匹田 貴夫, 牧野 弘, 吉村 武

病理1 (2名)

中山 敦雄, 橋本 光義

病理2 (10名)

村雲 芳樹, 下山 芳江, 村上 秀樹, 岩田 洋介,
市原 正智, 黒川 景, 川井 久美, 橋本 瑞生,
喬 善楼, 岩橋 順

細菌 (5名)

SOUMITRA BARUA, 鳥居 啓三,
長谷川忠男, 橋川真之介, 山田 景

法医 (2名)

山本 敏充, 吉本 高士

免疫 (13名)

戴 研, A.A.AKHAND, 杜 軍,
鈴木 治彦, 横山 稔厚, 伍 江紅
HOSSAIN MD KHALED, 武田湖州恵
周 燕文, 川本 善之, 坪井 秀夫, 馬 秀揚,
MUHAMIN RIFAI

生体防御 (14名)

吉開 泰信, 梅村 正幸, 劉 鉄, 松口 徹也,
山本 弦太, MUSIKACHAROEN TIPAYARATN,
矢島 俊樹, 菊池 毅石, 光 亮太郎, 岩田 全広,
藤本 淳司, 安間 哲宏, 原 朋広, 石川紀美香

ウィルス (5名)

山内 洋平, 高桑 弘樹, 村田 貴之, 腰塚 哲朗,
野沢 直

癌研 (8名)

小泉 恵子, 吉田 松年, 鈴木 元, 武村 政春,
水谷有紀子, 登坂 亜樹,
SIRIPAN LIMSIRICHAIKUL,
DUMITRU MARINELA

分子病態 (8名)

浜口 道成, 千賀 威, AYE AYE THANT,
松田 覚, MYAT LIN OO, 張 彦英,
内藤 裕子, AMIN A.R.M. RUHUL

アイソトープ (5名)

濱田 信義, 原田 恵子, 中村 嘉行, 安達 興一,
岩本 隆

解剖3 (1名)

西沢 祐治

解剖1 (1名)

中村 典子

1内2研 (12名)

村手 隆, 木下 朝博, 浅野 治彦, 伊藤 達也,
黒川 敏郎, 幡野その子, 青木恵津子, 弓削 征章,
須山 孝宏, 李 英花, 大野 稔人, 満間 綾子

1内3研 (19名)

小嶋 哲人, 松下 正, 唐渡 雅行, 山本 晃士,
安部 明弘, 恵美 宣彦, 中山 享之, 早川 正哉,
横沢 敏也, 神戸 栄喜, 柳田 正光, 前田 高宏,
宮田 泰彦, 岡本 充功, 綿本 浩一, 蟹江 匡治,
中島 淳子, 山本 一仁, 澤 正史

1内5研 (24名)

岩崎 泰正, 三浦 義孝, 鈴木 敦詞, 近藤 国和,
尾崎 信暁, 村瀬 孝司, 有馬 寛, 垣屋 聡,
六鹿 典子, 立川 和重, 山守 越子, 石崎 誠二,
大井 浄, 渡邊 陽子, 有吉 陽, 吉田 昌則,
横井 朋子, 近藤 紀子, 梶村 益久, 佐藤 郁子,

山本 直樹, 垣田 彩子, 桑原志のぶ, 浅井 真人
 1内6研(9名)
 長谷川好規, 川部 勤, 今泉 和良, 堀尾 芳嗣,
 原 徹, 関戸 好孝, 橋本 直純, 佐藤 光夫,
 杉野 安輝
 1内7研(4名)
 柴田 義久, 竹下 享典, 前田 健吾, 鈴木 徳幸
 1内8研(11名)
 楠神 和男, 伊奈 研次, 西尾 雄司, 石黒 和博,
 島田 昌明, 山口 晴雄, 都築 智之, 野畑 和夫,
 前田 修, 久野 裕司, 西脇 毅
 2内2研(1名)
 増田 章男
 2内3研(3名)
 奥村 健二, 木村 晃, 井上 雅博
 2内4研(3名)
 片野 義明, 清水 秀幸, 本多 隆
 2内5研(7名)
 成瀬 達, 北川 元二, 石黒 洋, 水野 伸匡,
 中島 守夫, 鈴木 厚, 馬淵 龍彦
 2内6研(4名)
 大宮 直木, 加藤 徹哉, 新美 親紀, 大山 格
 3内肝臓(2名)
 吉岡健太郎, 渡辺 一正
 3内腎臓(8名)
 丸山 彰一, 倉田 久嗣, 春日 弘毅, 佐藤 和一,
 福田 直行, 加藤佐和子, 坪井 直毅, 河合 華代
 3内糖尿病(13名)
 小森 拓, 成瀬 桂子, 加藤 宏一, 中島英太郎,
 水林 竜一, 安田 裕, 渡辺 源市, 神谷 英紀,
 三輪 一真, 秋山 昇, 李 為国, 小林 泰子,
 渡会 敦子
 1外ツモール(8名)
 吉原 基, 古田 美保, 吉田 克嗣, 國料 俊男,
 山本 竜義, 広松 孝, 小林 聡, 窪田 智行
 2外癌(9名)
 日比 健志, 笠井 保志, 秀村 和彦, 中山 裕史,
 高瀬 恒信, 山崎 泰爾, 伊藤 誠二, 今澤 正彦,
 藤竹 信一
 2外内分泌(1名)
 西川美紀子
 2外肝臓(6名)
 竹田 伸, 杉本 博行, 山下 克也, 大河内 治,
 上村 孝法, TEZEL EKMELE
 整形外(3名)
 渡辺 剛, 和泉 聖子, 下野 圭子
 婦人(19名)
 井篁 一彦, 野村 誠二, 安藤 寿夫, 伊藤 友美,
 三井 崇, 小谷 芳明, 大野 泰正, 板倉 敦夫,
 伊藤 充彰, 梶山 広明, 鈴木 崇弘, 佐野 倫代,
 吉川 史隆, 岡田真由美, 勝股 克成, 仲田 正之,
 生駒 容子, 小林 穂波, 菅沼 貴康
 小児免疫(1名)
 柘植 郁哉
 泌尿器(1名)
 加藤 真史
 麻酔(1名)
 杉本 憲治

老年(3名)
 加納 初世, 角 大悟, 中村 了
 小児 血液(2名)
 工藤 寿子, 吉見 礼美
 薬剤(8名)
 山田 清文, 野田 幸裕, 間宮 隆吉, 宮本 嘉明,
 水野 誠, 中島 晶, 永井 拓, 内山 武久
 小児 外科(1名)
 落合 恵子
 免疫内科(1名)
 安田 宜成
 難治感染部(1名)
 小澤 幸泰
 保健学科(2名)
 長瀬 文彦, 高木 義和
 胸部外科(4名)
 森 正一, 宇佐美範恭, 重光希公生, 竹内 美佳
 2外 移植(1名)
 長坂 隆治
 形成外科(1名)
 伊能 和彦

講習会・学部実習

(平成13年3月～平成13年7月)

A. 本 館

利用者講習会 (年次教育)

期 日 平成13年4月4日 (水)

担当者 西澤 邦秀, 高畠 貴志, 小島 久

受講者 71名

利用者講習会 (年次教育)

期 日 平成13年4月5日 (木)

担当者 竹島 一仁, 佐瀬 卓也, 森川 真理

受講者 94名

利用者講習会 (年次教育)

期 日 平成13年4月6日 (金)

担当者 竹島 一仁, 佐瀬 卓也, 森川 真理

受講者 46名

利用者講習会 (新人オリエンテーション)

期 日 平成13年3月13日 (火)

担当者 小島 久

受講者 1名

利用者講習会 (新人オリエンテーション)

期 日 平成13年4月17日 (火)

担当者 小島 久

受講者 30名

利用者講習会 (新人オリエンテーション)

期 日 平成13年5月25日 (金)

担当者 近藤 真理

受講者 7名

利用者講習会 (新人オリエンテーション)

期 日 平成13年6月21日 (木)

担当者 小島 久

受講者 15名

利用者講習会 (新人オリエンテーション)

期 日 平成13年7月27日 (金)

担当者 近藤 真理

受講者 12名

BAS2000, MCID, Pictro取扱説明会

期 間 平成12年4月6日 (金, 午後)

担当者 佐瀬 卓也

受講者 7名

R I 取扱講習会 講義-1 (英語)

期 間 平成13年5月8日 (火)

担当者 西澤 邦秀, 安達 興一

受講者 3名

R I 取扱講習会 講義-2

期 間 平成13年5月9日 (水)

担当者 西澤 邦秀, 安達 興一

受講者 54名

R I 取扱講習会 講義-3

期 間 平成13年5月10日 (木)

担当者 竹島 一仁

受講者 49名

R I 取扱講習会 講義-4

期 間 平成13年7月2日 (月)

担当者 西澤 邦秀, 安達 興一

受講者 46名

R I 取扱講習会 実習-1

期 間 平成12年5月14日 (月)

担当者 佐瀬 卓也, 高畠 貴志

受講者 18名

R I 取扱講習会 実習-2

期 間 平成13年5月15日 (火)

担当者 高畠 貴志, 佐瀬 卓也

受講者 19名

R I 取扱講習会 実習-3

期 間 平成13年5月16日 (水)

担当者 佐瀬 卓也, 高畠 貴志

受講者 18名

R I 取扱講習会 実習-4

期 間 平成13年5月17日 (木)

担当者 高畠 貴志, 佐瀬 卓也

受講者 17名

R I 取扱講習会 実習-5

期 間 平成13年5月18日 (水)

担当者 佐瀬 卓也, 高畠 貴志

受講者 19名

R I 取扱講習会 実習－6

期 間 平成13年 7 月 3 日 (火)
 担当者 高畠 貴志, 佐瀬 卓也
 受講者 16名

R I 取扱講習会 実習－7

期 間 平成13年 7 月 4 日 (水)
 担当者 佐瀬 卓也, 高畠 貴志
 受講者 11名

第45回 X線取扱講習会

期 間 平成13年 5 月 30 日 (水)
 担当者 山根 隆, 飯田 孝夫, 安達 興一
 受講者 111名

第46回 X線取扱講習会

期 間 平成13年 5 月 31 日 (木)
 担当者 山根 隆, 飯田 孝夫, 竹島 一仁
 受講者 110名

学部講習 (講義) 臨時

[理学部物理学科・第 3 種 (X 線) 認定講習]

期 間 平成13年 4 月 11 日 (水)
 担当者 岩田 高広, 田原 譲, 村上 緑
 受講者 23名

農学部 応用生物化学科

期 間 平成13年 4 月 9 日 (月)～27 日 (金)
 担当者 松林 嘉克, 小田 裕昭, 饗場浩文,
 間崎 剛 (TA), 後藤 孝信 (TA),
 中山 大輔 (TA)
 受講者 69名

理学部 物理学科

期 間 平成13年 5 月 31 日 (木), 6 月 1 日 (金)
 担当者 岩田 高広, 稲垣 貴也 (TA)
 受講者 36名

講習会名	実施回数	日 数	受講者数
利 用 者 講 習 会	8	8	276
機 器 利 用 説 明 会	1	1	7
R I 取扱講習会(講義)	4	4	152
(実習)	7	7	118
X 線 取 扱 講 習 会	2	2	221
(学部臨時講習)	1	1	23
学 部 実 習	2	17	105
計	25	40	902

B. 分 館

再教育講習会

期 日 平成13年 3 月 5 日 (月)
 担当者 安達 興一, 濱田 信義, 中村 嘉行
 受講者 114名

再教育講習会

期 日 平成13年 3 月 6 日 (火)
 担当者 安達 興一, 濱田 信義, 中村 嘉行
 受講者 132名

再教育講習会

期 日 平成13年 3 月 14 日 (水)
 担当者 安達 興一, 濱田 信義, 中村 嘉行
 受講者 74名

再教育講習会

期 日 平成13年 4 月 10 日 (火)
 担当者 安達 興一, 濱田 信義, 中村 嘉行
 受講者 15名

分館利用説明会

期 日 平成13年 4 月 10 日 (火)
 担当者 安達 興一, 岩本 隆司, 濱田 信義
 受講者 13名

分館利用説明会

期 日 平成13年 4 月 11 日 (水)
 担当者 岩本 隆司, 濱田 信義
 受講者 13名

分館利用説明会

期 日 平成13年 5 月 29 日 (火)
 担当者 岩本 隆司, 中村 嘉行
 受講者 7 名

分館利用説明会

期 日 平成13年 5 月 30 日 (水)
 担当者 岩本 隆司, 中村 嘉行
 受講者 8 名

分館利用説明会

期 日 平成13年6月5日(火)
担当者 岩本 隆司, 濱田 信義
受講者 5名

分館利用説明会

期 日 平成13年6月7日(木)
担当者 岩本 隆司, 濱田 信義
受講者 3名

分館利用説明会

期 日 平成13年6月13日(水)
担当者 岩本 隆司, 中村 嘉行
受講者 8名

分館利用説明会

期 日 平成13年7月10日(火)
担当者 岩本 隆司, 濱田 信義
受講者 4名

グループ責任者講習会

期 日 平成13年4月17日(火)
担当者 安達 興一, 濱田 信義, 中村 嘉行
受講者 20名

グループ責任者講習会

期 日 平成13年4月27日(金)
担当者 安達 興一, 濱田 信義, 中村 嘉行
受講者 11名

X線利用説明会

期 日 平成13年6月14日(木)
担当者 濱田 信義, 武井 明彦
受講者 1名

X線再教育講習会

期 日 平成13年6月14日(木)
担当者 濱田 信義, 武井 明彦
受講者 20名

講習会修了者名簿

RⅠ講習〔第2種〕〔第2種：見習い期間付き、講義のみ受講〕(37名)

5月9日(8名)

理学部・理学研究科 小松 賢市, 坂田 宗平, 丹羽 淑恵
 医学部・医学研究科 石乃 和夫
 医学部・保健学科 倉田 泰吉
 工学部・工学研究科 吉井 章子, 伊藤 寛士
 人間情報学研究科 西野 泰暢

5月10日(8名)

医学部・医学研究科 小川 敦司, 前川 厚生
 医学部保健学科 五十川裕之
 工学部・工学研究科 縣 伸一, 嶋本 直之
 人間情報学研究科 戎 俊男
 環境学研究科 星川 直輝, 師橋 賢太郎

7月2日(21名)

医学部保健学科 金田 強, 坪井 絵美, 森田 康祐
 工学部・工学研究科 鈴木 猛司, 高橋 年哉, 水野 義人, 高見 剛, 高橋 宏文, 岩崎 直, 田代 雄亮,
 クァン鈞虹, 広瀬 貴士, 渡辺 洋右, 栗城 彰, 川井 佳典, 長谷川嘉弘, 浦上 晃,
 小川 和男, 久野 尚志, 平田 智也, 宮里 卓郎

RⅠ講習〔第2種：見習い期間免除、講義及び実習受講〕(118名)

5月8日～21日(91名)

情報文化学部 津田 竜二
 理学部・理学研究科 竹内 敏, 中野 治久, 根岸 公祐, 山田 祥孝, 蜂須 麗, 井垣 友克, 松石 武,
 宮林 善久, 槇尾 匡, 山根 由裕, 黒河 理絵, 後藤 麻友, 南場 進, 清水あゆみ,
 Jilitch Victor, 小林 知洋, 王 力, 宮原ひろ子, 藤田 真康
 医学部・医学研究科 本馬 周淳, 内山 武久, 吉村 正子, 浅井 真人, 高橋亮太郎, 渡会 敦子, 溝口 博之,
 笹本 彰紀, 紫藤 史, Rifai Muhaimin, 若林 健一, 西尾 将史, 森 さつき,
 伊能 和彦, 杉本 憲治, 腰塚 哲朗, 澤 正史, 松原賢一郎, 河合 華代, 小林 宏暢,
 谷村 葉子, 竹内 美佳, 小林 穂波, 前田 彰男, 山内 忍, 安部 哲也
 附属病院 石川 和宏
 工学部・工学研究科 鈴木 圭輔, 多賀 康浩, 中村 俊浩, 英 真次, 綾田 英利, 大橋 菜芳, 橋本 健志,
 赤澤 慶彦, 曾我 一樹, 鈴木 次郎, 堀田 秋津, 伊藤 俊成, 岩田 健一, 河辺 佳典,
 空閑 佑子, 河野 健, 小田巻史剛, 中根 幸司, 杉山 一慶
 農学部・生命農学研究科 神谷 岳洋, 岩田 剛幸, 鈴木 宏尚, Rubio Raquel Orejudos, 石川 裕規, 大場 裕一,
 角田 貴彦, 中村 光裕, 山田 俊児, 河 燕ジュ, 森 正彦, 縣 佐知子, 中嶋 英裕,
 朱 間, 鈴木 大輔, 後藤 浩文, 柴田 葉子, 保科 有紀, 山田 剛, 楊 明,
 加藤 慎一
 人間情報学研究科 北澤 秀基
 環境学研究科 鈴木佐知子
 環境医学研究所 片野坂公明
 遺伝子実験施設 九町 健一

7月2日～4日(27名)

理学部・理学研究科 青木 一洋, 小村 理行, 森下 竜男, 小山 郁子, 笠井 倫志, 勝野 達也,
 Talukder Ali Azam, 谷澤 欣則, 宮良 晶子
 医学部・医学研究科 武野 彰, 山田 景子, 水野 聡己, 上野 明行, 伊藤 千里, 岩間 紀知
 医学部保健学科 川嶋 一平

附属病態制御研究施設	千葉 紀香, 矢野 稚子
附属病院	藤竹 信一
農学部・生命農学研究科	永宮 研二, 宮崎 基美, 松川 奈央, 吉田 智保, 高松 亜弥
環境学 研究科	星川 直輝, 師橋賢太郎, 李 甲善

X線講習 [第3種] (221名)

第45回 5月30日 (111名)

法学部	長倉 由季
理学部・理学研究科	小松 賢市, 金森 信厚, 鈴木 良仁, 竹内 敏, 森下 竜男, 桑原 真人, 中野 治久, 佐藤 憲昭, 阿波賀邦夫, 吉川信一郎, 増田 大耕, 中村 説志, 坂田 宗平, 島井 孝誌, 仙敷企見雄, 丹羽 淑恵
医学部・医学研究科	白井 健之助
工学部・工学研究科	森 哲朗, 内田 鉄也, 加納 孝俊, 野呂 篤史, 和田 章吾, 江坂 宗佳, 田中 伸明, 別所真知子, 宮部優美子, 森 保樹, 田中 拓史, 成瀬 憲政, 藤田 隆文, 神田 真吾, 田島 善直, 佐橋 康寛, 砂田 智章, 西本 純一, 橋本 雅識, 平林 尚樹, 奥田 泰弘, 鈴木 康文, 水野 将成, 由良 幸信, 横山 裕, 野々部利彦, 藪 洋彰, 深谷 康太, 塩田 譲, 鈴木 康悦, 芹澤 一史, 村雨 勇治, 阿蘇品康一, 伊藤 哲哉, 濱田 美子, 上野光太郎, 恩田 基弘, 呉 雄介, 安井友二郎, 神野 真行, 藤岡 真人, 米澤 徹, 源田 英生, 高 彦峰, 松下 佳弘, 白幡 直人, 調子 晴久, 伊藤 始, 櫻井 幸夫, 加藤 慎一, 佐口 耕樹, 水野 裕介, 渡邊 宏満, 山出 雅章, 菰田 頼忠, Rathod Manoj Jagannath, 中嶋 隆之, 佐々木浩一, 井澤 清治, 山崎 雅志, 前田 頼嗣, 水野 賢一, 山本 創太, 伊神 崇, 宮崎 交司, 栗城 彰, 塩沢 学, 石川 修世, Ona Erwin Pamplona, 廣田 博之, 西島 大, 太田 貴之, 菊川 大輔, 永井 久雄, 松谷 美穂, 森岡 怜司, 石田 健一, 杉本 裕司, 楯 保人, 前原 篤史, 前田 勝浩, 西村 達也, 楊 健
農学部・生命農学研究科	渡辺 彰, 阿部 倫則
環境学研究科	水上 知行, 山本 鋼志, 三村 耕一
環境医学研究所	小崎 康子
博物館	吉田 英一, 西田 佐知子
理工科学総合研究センター	上杉 喜彦
物質科学国際研究センター	藤田 渉

第46回 5月31日 (110名)

理学部・理学研究科	朝倉 景一, 清水 崇志, 都築 隆, 佐渡原 一十三, 山崎 敬之, 斎藤 暢人,
医学部・医学研究科	高橋 亮太郎, 田口 歩, 竹村 俊洋, 水野 聡己
附属病院	富田 雅弘
工学部・工学研究科	大鹿 航志, 佐野 宏一, 松本 奈々, 森 由美子, 関本 紋乃, 山田 英之, 加藤 嘉洋, 杉浦 裕二, 角田 和之, 中村 聖, 榎田 佳明, 大西 宏昌, 加藤 菜摘, 木村 誠人, 鈴木 猛司, 高橋 年哉, 水野 義人, 児玉 英優, 内藤 崇, 内藤 貴之, 松居 潤, 大谷 秀雄, 高橋 秀嗣, 古田 賢寛, 神野 真吾, 浦上 晃, 小川 和男, 平田 智也, 宮里 卓郎, 吉兼 豪勇, 久野 尚志, 佐藤 豊幸, 中村 彰文, 江村 雅彦, 奥村 弥夢, 加藤 拓也, 小林 史貴, 鈴木 篤史, 藤井 朋之, 吉田 悠也, 松本 幸三, 山本 智代, 窪田 隆輝, 鈴木 次郎, 劉 貴慶, 羽多野重信, 金子 慶子, 木下 義規, 倉知 清悟, 濱田 章裕, 御友 晶, 三鍋 昌由, 李 智雄, クァン 鈞虹, 川田 哲雄, 樺山 儀恵, 和田本 学, 井上堅太郎, 鈴木 圭輔, 荒巻 光利, 伊藤 寛和, 浦山 博史, 九鬼 達行, 白形 洋一, 山口 毅, 伊藤 喜朗, 小林 靖人, 奥村 論, 神谷 健, 田中 誠基, 伊藤 利大, 佐々木健作, 松本 英揮, 松下 啓行, 上野 美香, 宇野 光彦, 関澤 哲, 松尾 尚慶, 宮地 幸司, 藤田 拓也, 包原 洋, 林 昌宏, 長谷川嘉弘, 本田 善史, 西村 慶之, 内山 茂, Razzak MD Abdur, 山本 雪絵, 香村 隆裕

環境学研究所 Wallis Simon, 丹羽 健文, 保高 容子, 青矢 陸月, 鈴木佐知子, 星野 光雄,
Zaw Win Ko, 李 甲善
生物分子応答研究センター 本杉 奈美
物質科学国際研究センター 李 興福

学部講習(講義)臨時[第3種](23名)

4月11日(23名)

理学部物理学科 秋山倫太郎, 五十嵐洋樹, 池山 剛史, 井尻 隆太, 伊藤 篤史, 上山 洋平, 島村 利仁,
白岡 貴久, 神藤 厚史, 鈴木 友行, 小林 雅裕, 新里 隆, 関口 知弘, 竹内 美華,
豊田 貴之, 浪花 健一, 秦 彰宏, 福島 佳優, 矢田 智春, 山川 壽伯, 山田 素子,
渡邊 靖人, 武田 直樹

センターを利用しての学位授与者

A 本館

学 部	所 属	氏 名	テーマ	
理学研究科	地球惑星理学専攻 宇宙地球化学講座	近藤 正史	マーチソン隕石中のコンドリユールとその起源	修士
		柴田 信之介	放射線照射下における岩石風化と希土類元素存在度パターン	修士
		加地 拓哉	四国東赤石山肉淵岩帯のOs濃度・同位体比と化学組成	修士
		武辺 勝道	太平洋堆積物の希土類元素組成に影響を与える主要因とボーセラナイト形成過程・埋没過程による深海堆積物の化学組成変化	修士
工学部・工学研究科	生物機能工学専攻 遺伝子工学講座	町田 雄一	Molecular and Cellular Approaches to Neural Development	博士
		神村 亮介	肝特異的遺伝子産物の発現調節メカニズムの解析に関する研究	修士
		堂田 丈明	初代肝細胞培養における形態形成と増殖応答に関する基礎的研究	修士
		柳江 高次	クロマチンリモデリング因子の発現制御に関するゲノム学的研究	修士
		高橋 幹雄	人工臓器開発のためのガン抑制遺伝子と細胞分化についての研究	学士
		坪田 朋子	クロマチンリモデリング因子と臓器特異的転写因子の相互作用の解析	学士
		片岡 洋平	連鎖球菌Streptococcus agalactiaeのシアリルラクトサミンポリマーの発現制御に関する基礎的研究	学士
		Dinh Gia Khanh	RBファミリータンパク質と肝特異的転写因子との相互作用に関する研究	学士
	原子核工学専攻 エネルギー環境工学講座	野田 満靖	プロトン導電性セラミックスを用いた環境中気体状トリチウム回収装置に開発に関する研究	修士
	原子核工学専攻	宮坂 和孝	イメージングプレートによるプラズマ対向壁表面のトリチウム分布測定	修士
農学部・生命農学研究科	応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物栄養情報学研究分野	長尾 健二	ニワトリにおける栄養とインスリン様成長因子結合蛋白質の遺伝子発現との関係	修士
		鈴木 友美	シロイタナズナのHis-Aspリン酸リレー情報ネットワークの解析: HisセンサーキナーゼAHKsとHP1仲介因子AHPsの解析	博士
	生物機構・機能科学専攻 分子細胞機構学講座 微生物学	今村 綾	シロイタナズナのHis-Aspリン酸リレー情報ネットワークの解析: リン酸基受容体型制御因子ARRから見たシロイタナズナHis-Aspリン酸リレー系の機能特徴解析	博士
		武田 真一郎	大腸菌における情報伝達分子機構の解析	修士
		三林 靖典	分裂酵母における情報伝達機構の解析	修士
		牧野 聖也	高等植物における情報伝達機構の解析	修士
	資源生物環境学科 微生物学	寺田 和典	分裂酵母の新規レスポンスレギュレーターPrf1の構造と機能	修士
		大城 智子	定常期(Stationary phase)でのviabilityに変化をきたす分裂酵母の変異株の取得と解析	修士
	生物機構・機能科学専攻 生物機能分化学講座 資源昆虫学	片桐 伸悦	カイコにおける新規な休眠代謝の創出および休眠ホルモンの遺伝子発現調節作用	博士
	生物機構・機能科学専攻 資源生物機能学講座 植物病理学	井戸 邦彦	ジャガイモ植物における病害ストレス応答性遺伝子の探索とその発現解析	修士
		砂崎 浩二	植物組織における全身のオキシダティブバーストを誘導する細胞間情報伝達の生理機構	修士
		仲井 仁美	タバコ植物の感染応答におけるエチレン誘導性遺伝子の機能に関する研究	修士
		中根 栄一	ジャガイモ植物におけるエリシター応答性遺伝子群の探索と局所的および全身的発現応答様相	修士
		山本 文子	ジャガイモ植物の防御関連代謝誘導における一酸化窒素の関与	修士
		大浦 生子	ジャガイモ植物におけるオキシダティブバーストに関与するリン酸化酵素に関する研究	学士
	資源生物環境学科 植物病理学	片山 博之	形質転換タバコを用いたエリシター誘導性LRRレセプター様タンパク質の機能解析	学士
		小林 光智衣	傷害・加齢により獲得されるエリシターに対する活性酸素生成応答能に関する研究-とくにカルモジュリンについて-	学士
		真弓 大伸	ファイトアレキシン合成に関与するHMGR遺伝子プロモーターの機能解析	学士
		山下 真生	植物における全身のオキシダティブバースト誘導機構に関する研究-ジャガイモ塊茎組織におけるサリチル酸の全身的シグナル発信作用について-	学士

生物機構・機能科学専攻 バイオダイナミクス講座 生物相関進化学分野	田中 愛子	ナシ黒斑病菌の宿主特異的毒素生成の分子機構	博士	
	伊藤 芳	イチゴ黒斑病菌のAF毒素生成に関与するAFT3およびAFTS1遺伝子の構造と機能解析	修士	
	小原 敏明	Fusarium oxysporumの胞子形成変異株および病原性変異株の分離と変異遺伝子の同定	修士	
	西川 理英子	ナシ黒斑病菌のAK毒素生成に関与するAKTS1およびAKT4遺伝子の構造と機能解析	修士	
資源生物環境学科 生物相関進化学	今崎 亜依	ナシ黒斑病菌のAK毒素生成酵素の細胞内局在性に関する研究	学士	
応用分子生命科学専攻 バイオモデリング講座 動物行動統御学	牧野 江里	鳥類の末梢器官における時計遺伝子の発現に関する研究	修士	
	安尾 しのぶ	鳥類の脳における時計遺伝子の発現	修士	
	横田 祐樹	概日リズム突然変異マウスに関する分子生物学的研究	修士	
	斉藤 弘明	プロラクチン放出ペプチドの性腺刺激ホルモン分泌調節機構	修士	
応用分子生命科学専攻 応用遺伝・生理学講座 動物生殖制御学	木下 美香	グルコキナーゼ陽性第4脳室上衣細胞の黄体形成ホルモン分泌と摂食行動の調節における役割	修士	
	Beverly, A. S. Reyes	Neuronal Activation and Estrogen Receptor α Expression Regulating Luteinizing Hormone Secretion During Energy Deficient Condition	博士	
生物情報制御専攻	武田 泰斗	花芽・種子形成に特異的なイネ糖トランスポーターの解析	修士	
人間情報学研究科	物質・生命情報学専攻 環境システム論	山本 誠	イメージングプレートの ¹³¹ Iに対するフェーディング特性の解析	修士
	物質・生命情報学専攻 生物システム論	山田 一登	Xenopus 初期胚の新規セリンプロテアーゼ遺伝子4種類の解析および表皮前後軸形成機構についての考察	博士
	物質・生命情報学専攻	二木 杉子	遺伝性神経疾患 (dilute-cpisthotonas, dop) ラットを用いたシオシンVaの遺伝子変異とその発現に関する研究	博士
環境医学研究所	分子・細胞適応部門 発生・遺伝分野	アイシャ・シディック	ラットの発達段階におけるZAKI-4mRNAの脳での発現とこれに及ぼす甲状腺ホルモンの作用	博士

B. 分館

*セミナーは基礎医学セミナー（医学部では学士論文が無いのでそれに代わる物です）

学 部	所 属	氏 名	テーマ	
医学部	生化学第一講座	高橋朝彦	A slicing factor, Prp8: preferential localization in the testis and ovary in adult mice	博士
		Zou Kun	A heparin-binding growth factor, midkine, binds to a chondroitin sulfate proteoglycan, PG-M/versican	博士
	生化学第二講座	鈴木宏和	新規al, 4ガラクトース転移酵素遺伝子のクローニング	セミナー
		原 朋広	human Aurora-A protein kinase によるHistone H3 のリン酸化及び自己リン酸化部位の決定とリン酸化コンセンサス配列の解析	セミナー
		北角 淳	Gb3/verotoxin を介する大腸上皮細胞のアポトーシス誘導機構	セミナー
	薬理学講座	丹羽多恵	Acetylcholine activates intracellular movement of insulin granules in the pancreatic β -cells via Ca^{2+} -dependent mobilization of intracellular Ca^{2+} .	博士
		Wei Yu	Synergism of protein kinases A, C and myosin light chain kinase in the secretory cascade of the pancreatic	博士
	病理学第二講座	黒川 景	Identification of SNT/FRS2 docking site on RET receptor tyrosine kinase and its role for signal transduction.	博士
		上野薫	MEN2A型、2B型変異RET遺伝子によって発現が誘導される遺伝子のクローニング	セミナー
		山本啓之	hREV7結合蛋白の同定	セミナー
	内科学第一講座	佐藤光夫	Infrequent Mutation of the hBUB1 and hBUBR1 Genes in Human Lung Cancer	博士
	内科学第二講座	汪 幼学	Do plasma and urine trypsinogen activation peptides (TAP) really increase in trypsin-taurocholate-induced pancreatitis?	博士
	外科学第一講座	李野泰司	PGE1 は、肝T細胞のTh2様反応を介して、大腸菌によるマウスの肝障害を抑制する。	博士
附属病態制御研究施設	がん細胞研究部門	岡田禎人	DNAトポイソメラーゼ活性中心近傍の構造と機能	博士
		今橋伸彦	DNA ポリメラーゼdelta 分子の再構築	セミナー
		谷澤朋美	酸性スフィンゴミエリナーゼ遺伝子の5' 領域の解析とレチノイン酸による分化誘導機構	セミナー
附属病院	薬剤部	間宮隆義	Nociceptin system plays a role in the memory retention: involvement of naloxone benzoylhydrazide binding sites.	博士
		宮本嘉明	Hyperfunction of dopaminergic and serotonergic neuronal systems in mice lacking the NMDA receptor $\epsilon 1$ subunit.	博士

放射線安全管理室からのお知らせ

2001年度後期予定

●本館●

10月 行政評価・監視 (10/18・19)

冷暖切替

11月 漏電調査

12月 2 期期末チェック (～12/21)

2002年

1 月 3 期利用開始 (1/7)

2 月 施設・設備点検

3 月 2002年度利用申請

2002年度健康診断手続き

3 期期末チェック (～3/27)

(新人オリエンテーションは、毎月一回開催、開催日は掲示します)

●分館●

9 月 3 期実験計画書提出期限 (9/7)

グループ責任者講習会 (10/2, 3)

10月 3 期利用開始 (10/1)

12月 4 期実験計画書提出期限 (12/10)

2002年

1 月 4 期利用開始 (1/4)

下半期利用料金等請求

2 月 施設・設備点検

3 月 2002年度実験計画書提出期限 (3/8)

再教育講習会(3/4,5)

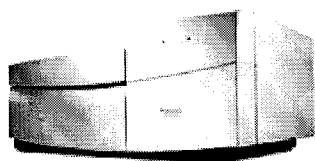
(分館利用説明会は、毎月一回以上開催、開催日は掲示します。)

機 器 紹 介

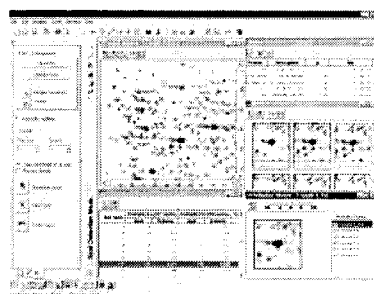
新しく機器を設置しました。ご利用下さい。

分 館

機 器 名	設 置 場 所	紹 介 説 明
画像解析装置 (Image Scanner) Typhoon (Amersham Pharmacia Biotech K.K)	旧館 2 階測定室	ゲルキメージをデジタル化し、検出・解析を Windows アプリケーションで行います。



Typhoon本体イメージ



解析イメージ

委員会の報告

第82回協議会 平成13年 5月15日開催

審議事項

1. 講習会経費の取扱いについて
2. 客員研究員の取扱いについて

報告事項

1. 運営委員会報告について
2. 研究生の受入について
3. 大気水圏科学研究所廃止に伴う協議会規程の整備について
4. 東海豪雨による被害箇所の復旧終了について
5. 委任経理金の受入について
6. 民間等との共同研究受入について

第83回協議会 平成13年 6月19日開催

審議事項

1. 分館長候補者の選考について

報告事項

1. 運営委員会報告について

第96回運営委員会 平成13年 4月20日開催

審議事項

1. 講習会の取扱いについて
2. 客員研究員の取扱いについて

報告事項

1. 協議会報告について
2. 研究生の受入について
3. 大気水圏科学研究所廃止に伴う協議会規程の整備について
4. 東海豪雨による被害箇所の復旧終了について
5. 委任経理金の受入について
6. 民間等との共同研究受入について

第97回運営委員会 平成13年 6月11日開催

審議事項

1. 分館長候補者の選考について

報告事項

1. 協議会報告について

アイソトープ総合センター 協議会協議員名簿

平成13年11月16日現在

所 属 ・ 職 名	氏 名
副 総 長	奥 野 信 宏
セ ン タ ー 長	西 澤 邦 秀
情 報 文 化 学 部	佐 野 充
医 学 部 ・ 医 学 研 究 科	中 島 泉
理 学 部 ・ 理 学 研 究 科 ・ 多 元 数 理 科 学 研 究 所	郷 道 子
工 学 部 ・ 工 学 研 究 科	平 野 眞 一
農 学 部 ・ 生 命 農 学 研 究 科	山 本 昭 平
環 境 医 学 研 究 所	松 井 鉄 哉
環 境 医 学 研 究 所	児 玉 逸 雄
原 子 力 委 員 会 委 員 長	河 出 清
分 館 長	古 川 鋼 一
年 代 測 定 総 合 研 究 セ ン タ ー 長	鈴 木 和 博
理 学 研 究 科 ・ 教 授	饗 場 弘 二
工 学 研 究 科 ・ 教 授	河 出 清
農 学 部 ・ 生 命 農 学 研 究 科 ・ 教 授	小 林 迪 弘

アイソトープ総合センター
運営委員会運営委員名簿

平成13年9月1日現在

所 属 ・ 職 名	氏 名
セ ン タ ー 長	西 澤 邦 秀
理 学 研 究 科 教 授	本 間 道 夫
医 学 研 究 科 教 授	中 島 泉
工 学 研 究 科 教 授	飯 田 孝 夫
農学部・生命農学研究科教授	宮 田 正
情 報 文 化 学 部 教 授	金 吉 敬 人
環 境 医 学 研 究 所 教 授	村 田 善 晴
環 境 学 研 究 科 教 授	田 中 剛
分 館 長	古 川 鋼 一
アイソトープ総合センター教授	西 澤 邦 秀
アイソトープ総合センター助教授	竹 島 一 仁
理 学 研 究 科 教 授	饗 場 弘 二
工 学 研 究 科 教 授	河 出 清
農学部・生命農学研究科教授	水 野 猛
アイソトープ総合センター講師	安 達 興 一

アイソトープ総合センター
教育・広報委員会名簿

平成13年4月1日現在

所 属 ・ 職 名	氏 名
セ ン タ ー 長	西 澤 邦 秀
理 学 研 究 科 講 師	町 田 千 代 子
医 学 研 究 科 助 教 授	門 松 健 治
医学部保健学科助教授	田 宮 正
工 学 研 究 科 教 授	飯 田 孝 夫
農学部・生命農学研究科教授	宮 田 正
情 報 文 化 学 部 教 授	森 昌 弘
環 境 医 学 研 究 所 教 授	神 部 福 司
環 境 学 研 究 所 教 授	田 中 剛
アイソトープ総合センター助教授	竹 島 一 仁

人 事 異 動

—ご苦労さまでした—

横 江 基 博 (専門職員)

平成13年4月1日 理学部・理学研究科へ配置換

—はじめまして—

山 岸 裕 孝 (専門職員)

平成13年4月1日 理学部・理学研究科から配置換

編集後記

新世紀初の夏は「猛暑、水不足」で大変でした。冬が例年になく寒かっただけに体にもこたえるようで、熱中症や風邪にも罹りやすかったようです。

そのような中、短い執筆期間で『Tracer』の原稿を書いて下さった先生方に感謝致します。

さて、国の情報公開法が今年4月1日に施行されました。

この法律の第1条は

『(目的)』

第一条 この法律は、国民主権の理念にのっとり、行政文書の開示を請求する権利につき定めること等により、行政機関の保有する情報の一層の公開を図り、もって政府の有するその諸活動を国民に説明する責務が全うされるようにするとともに、国民の的確な理解と批判の下にある公正で民主的な行政の推進に資することを目的とする。』

とあります。

江戸時代より、国家の支配層の人達は論語に「民はよらしむべし、知らしむべからず」とあるのを「人民に本当の事を教えるべきではない！ お上に黙って従うべきだ！」と、愚かな解釈をし、それが国の考えともなっていました。この伝統がなんと！ 現在に至るまで続いていましたが、とうとう先の第1条にありますように『国民主権の理念にのっとり、行政文書の開示を請求する権利』が法律に定められました。

怒濤の如く膨大な情報が氾濫する現代、必要とする情報を的確に捉え、正しく解釈し、より良い社会に変革を成し遂げるよう利用したいものです。

(Y.N)

トレーサー編集委員

委員長	西澤	邦秀
	佐瀬	卓也
	森川	真理
	中村	嘉行
	山岸	裕孝

Tracer 第30号

平成14年2月1日 発行

編集 名古屋大学アイソトープ総合センター教育・広報委員会

発行 名古屋大学アイソトープ総合センター

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

電話 〈052〉789-2563

FAX 〈052〉789-2567

印刷 新協和印刷株式会社